

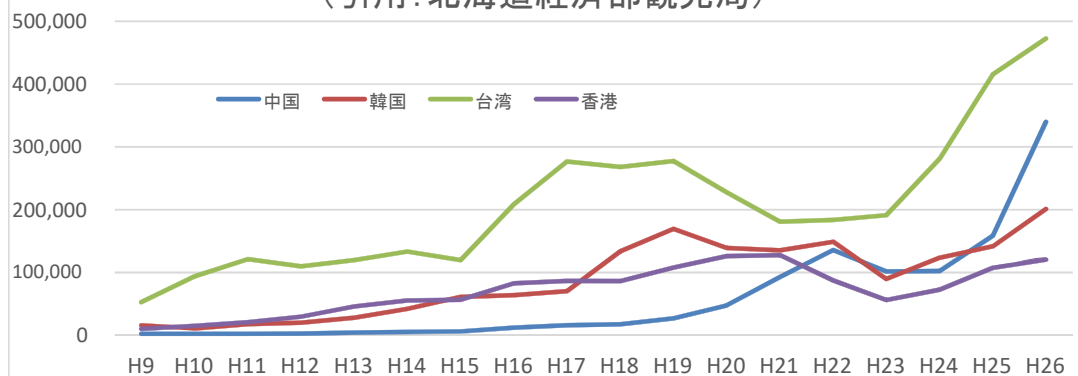
# アジアの国際線直行便増便による 道北観光地域の活性化効果

4年W1組 4712116 佐藤里穂



## 背景

アジアの訪日外国人来道者(実人数)の推移  
(引用:北海道経済部観光局)

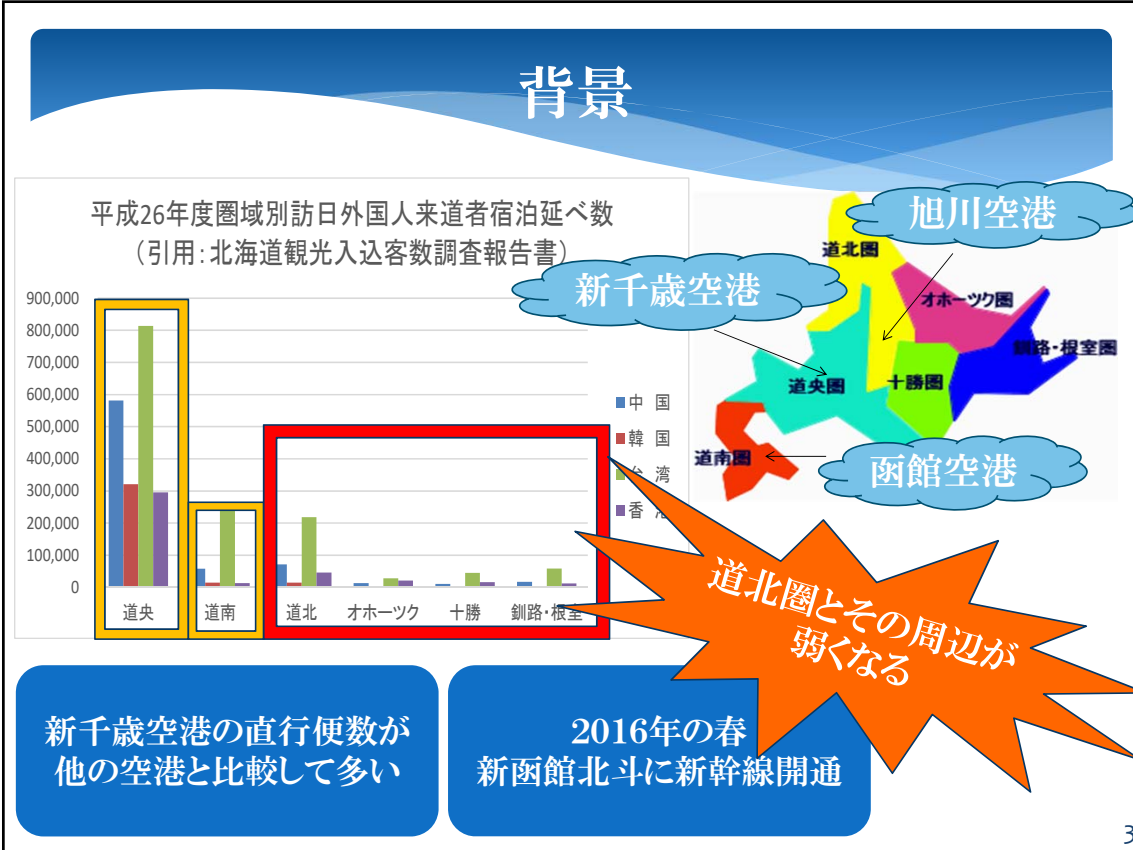


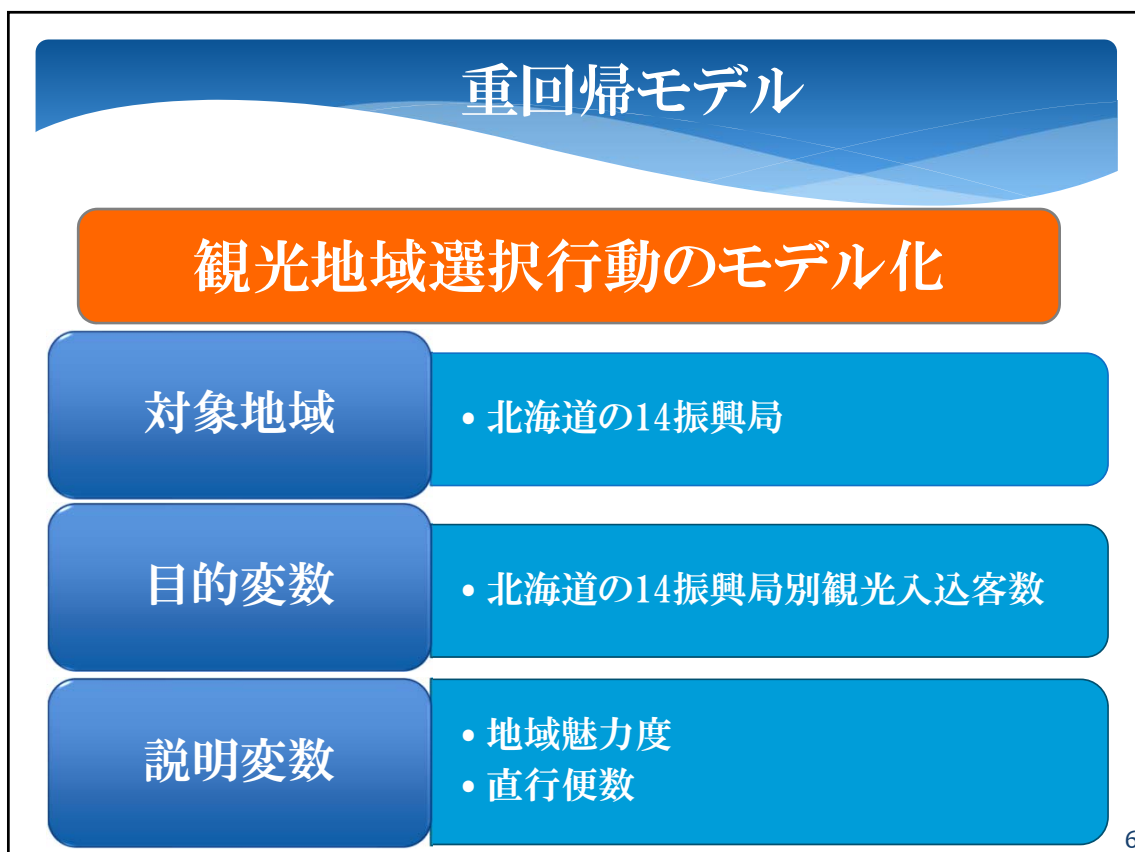
円安や免税対象品目の  
拡大

東アジア諸国に  
対する  
査証要件が緩和



アジアからの  
訪日外国人が増加





## 重回帰モデル

$$Y = \alpha \cdot FN + \beta \cdot SA + E + \text{補正值}$$

Y : 観光入込客数

$\alpha$  &  $\beta$  : パラメータ値

FN : アジア各国の直行便数

SA : 14振興局の魅力度

E : 定数項

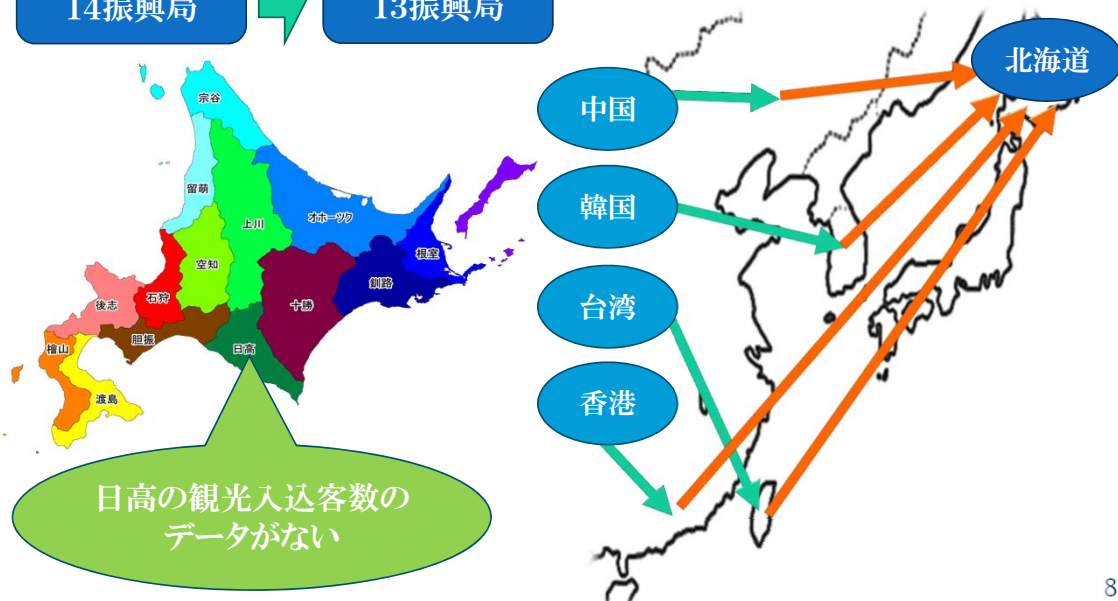
補正值: 実際値と理論値の誤差

7

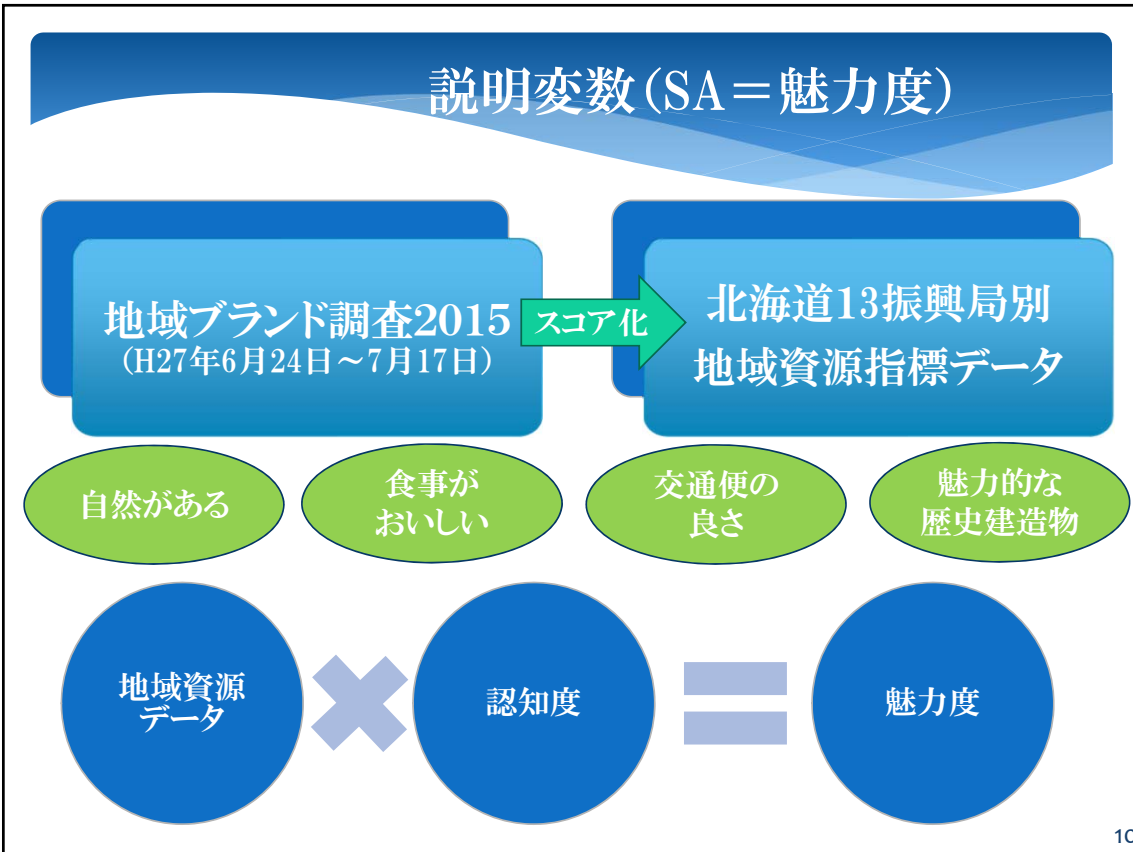
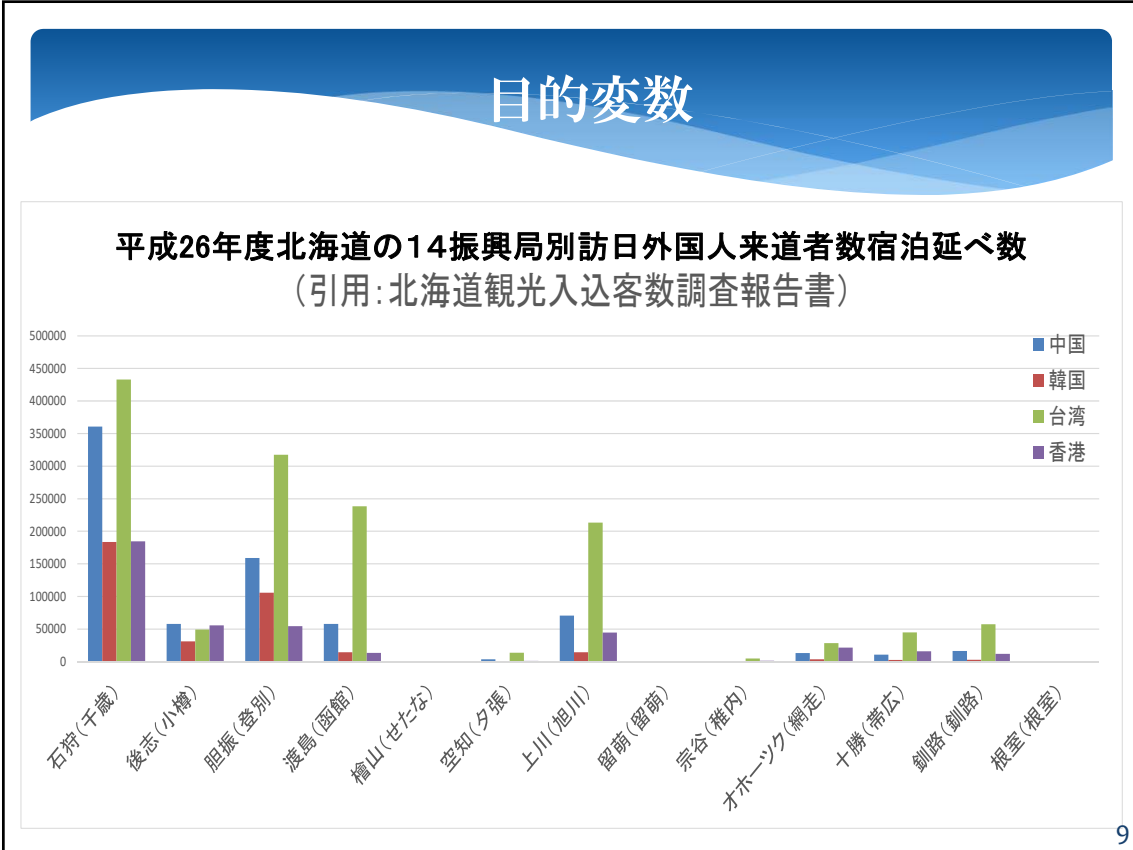
## 対象地域

北海道  
14振興局

北海道  
13振興局

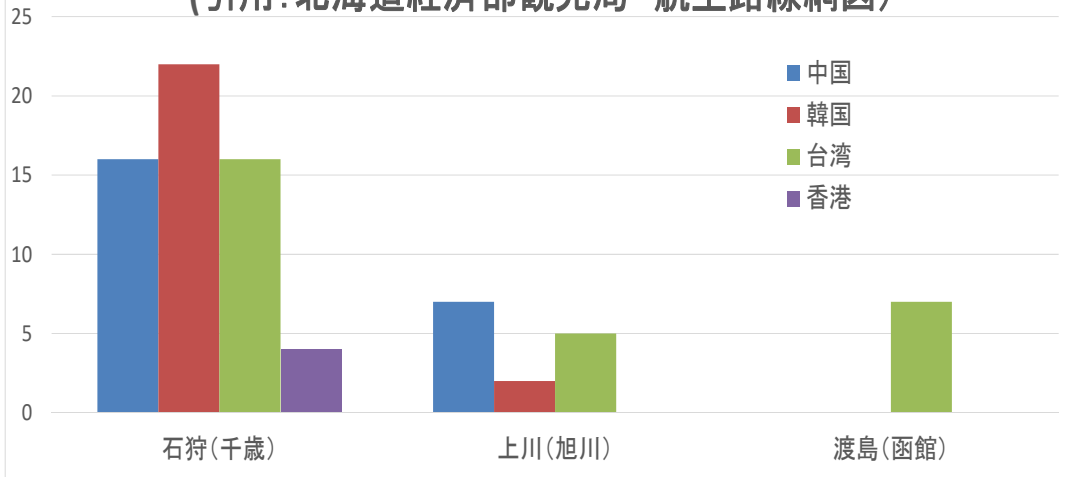


8



## 説明変数 (FN=直行便数)

平成26年度9月現在 1週間の直行便数(片道)  
(引用:北海道経済部観光局 航空路線網図)

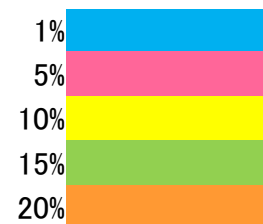


11

## 信頼度(P値)

	モデル	直行便数(片道)	魅力度
中国	0.0003	0.0269	0.0896
韓国	0.0006	0.0125	0.1462
台湾	0.0005	0.1821	0.0362
香港	0.0000	0.0001	0.0025

P値→5%以下だと信頼度が高い



12

## 直行便数増加シナリオの設定

### 観光客増加数の推計

	現在の観光客数 (人)	直行便数の片道 (便)	便数増便案 (便)	増加人数 (人)
中国	70,600	7	14	+84,115
韓国	14,182	2	4	+11,334
台湾	213,393	5	8	+29,232
香港	44,491	0	1	+31,585

道北の直行便数を千歳と同レベルの  
観光客数当たりの便数を飛ばすと仮定

道北の直行便数を2倍と仮定

13

## 直行便数増加シナリオの設定

### 観光消費増加額の推計

	1人当たりの 観光消費額(円) (引用:国土交通省 観光庁)	現在の観光客数の 消費額 (円)	人数増加の 消費増加額 (円)
中国	197,777	13,963,056,200 約140億	16,635,997,250 +166億
韓国	64,020	907,931,640 約9億	725,618,319 +7億
台湾	110,821	4,930,537,111 約50億	3,239,526,685 +32億
香港	88,915	18,973,838,595 約180億	2,808,369,867 +28億

## 産業連関分析

	消費増加額
中国	16,635,997,256
韓国	725,618,319
台湾	3,239,526,685
香港	2,808,369,867
合計	23,409,512,127

北海道に落ちるお金  
約234億

北海道全体の  
経済波及効果  
約307億

税金の収入  
約11億

### 経済波及効果

30,726,412,336

### 税収効果

1,114,211,936

15

## 直行便増加政策の提案

旭川空港  
着陸料

国際線共用  
施設使用料

A321



着陸料・使用料

・ ¥262,600 (約26万)

アジア各国

・ 全便数 \* (着陸料+使用料)

総料金を税金で  
全額補助

総料金を無料にし  
便数増加を図る

総料金(コスト)

・ 369,703,286 (約3億7千万円/年)

16



